

# 1年で6万km走った116i

## 12ヵ月法定点検 レポート

12月号の126ページで紹介した「モーレツに過走行な116i」が12ヵ月法定点検を受けた。昨年の正月に新車をおろして約1年、その走行距離は実に6.2万kmに達している。果たして点検結果は？費用は??と、興味が尽きない。



BMW Tokyo 天王洲サービスセンターで点検や整備してもらうにはまず電話予約(番号は下記参照)。当日はカスタマーラウンジで作業内容の確認から(写真左)。気になる点はここで伝えておく。その後セブションへ移動して実車確認(左ページ写真)。リフトもあるのでこの段階であらかたの見積もりは出る。今回のブレーキパッド/ローター交換もこの時点で判明。受付はこれで終了。あとは指定の日時にクルマを引き取りにいけばよい。完全予約制なので、原則として受付した日から作業に着手してくれるぞうだ。正規拠点だけにコンピューター関連機器のバージョンアップも完璧。すべてを安心して任せられる。下は今回の交換部品を並べてもらったところ。(取材協力)

BMW Tokyo  
天王洲サービスセンター  
予約専用ダイヤル:  
03-3740-1504  
営業時間:9:00~17:30  
定休日:日曜/月曜/祝日



この白いBMW 116iは、UCGがサポートする認定中古車検索サイト「認定中古車.com」の社有車である。営業マンの和知資宏氏が全国各地を駆け巡り、オドメーターが驚異的な数字を刻んでいるところまでは12月号で紹介した。そのとき5.3万kmあまりだった走行距離はさらに伸び、納車から1年たった今年正月の時点で6.2万kmを刻むに至っている。12ヵ月法定点検をお願いした「BMW Tokyo 天王洲サービスセンター」の担当者が驚いたことはいままでの前代未聞だそう。

それにしても、いかに高速道路の比率が高い使用形態とはいえ、実車からは6万kmの気色なぞ微塵も感じられない。内外装がきれいなのは和知氏が洗車好きなのもあろうが、ドライブフィールにもヤレタレの類がほとんど感じられないのは、BMWの真面目なクルマ造りの現れにほかならない。

さて、注目の診断結果である。作業前に和知氏が同センターに伝えた気になる点は「ときどきいろんな警告灯が点く」と「ブレーキが若干キキーと鳴く」ことの2点。それを受けての今回の

作業内容は以下になった。金額はすべて工賃込み。

フロントブレーキパッド/ローター交換 4万8300円、スパークプラグ交換(4本) 1万2390円、ワイパーブレード交換(3本) 8400円、スモールランプ/ライセンスランプのバルブ交換(4個) 4158円、これに基本点検料金2万2050円を加えて、トータル9万5298円である。他にエアコンコンプレッサーのオイル漏れも認められたが、こちらは新車保証の範囲内とのことで無償交換されている。なにしろ

まだ買って1年のクルマなのである。というわけで、1年1万kmといわれる平均的なケースに比べてイレギュラーだったのはブレーキ関係くらいのもので、外野としては面白くなかった。むしろ同センター自慢の予約システムのおかげで翌日にはもう作業が完了し、和知氏はさっさと旅立っていった。計算通りにいくとこのクルマ、最初の車検を約18万kmで受けることになる。「こうなったらもう徹底的に乗り続けますよ!」とのことだから、その日が来るのを楽しみに待つこととしよう。

Text: 加納亨介 / Photo: 丸山博人

